

三河高原トレイルランニングレース 2009

(文責・岡野 英雄 09.9.15 記)

※前日作業の内容（コース関係 その1）これは「新帶さん」からの「看板一覧」を書き直したものである。

北エリア (大府野活横断、AS 2、対面区間)				
ランナー注意	自立式 砂袋2	2	AS 2	
この先道路横断、車に注意	吊るし式	2	〃	
トイレ	自立式 砂袋1	1	〃	
エイドステーション	自立式 砂袋1	1	〃	
10 km、15 km	自立式 砂袋2	各1	P 37、P 51	
ここから対面区間、左側通行	自立式 砂袋2	2	P 29とP 30の間	
	計 砂袋8			
中エリア (AS 1、巴山横断、対面区間、ログショット分岐)				
ランナー注意	自立式 砂袋4	4	AS 1	
注意飛び出すな	自立式 砂袋4	4	〃	
この先道路横断、車に注意	吊るし式	4	〃	
エイドステーション	自立式 砂袋1	1	〃	
ここから対面区間、左側通行	自立式 砂袋2	2	P 24とP 27の間	
トイレ	自立式 砂袋1	1	P 26	
左ショート、右ロング	自立式 砂袋2	2	P 18	
5 km、20 km	自立式 砂袋2	各1	P 21、P 60	
	計 砂袋16			
南エリア (鬼久保ふれあい広場を出たところの横断箇所)				
ランナー注意	自立式 砂袋4	4	P 8とP 62の間	
注意飛び出すな	自立式 砂袋2	2	〃	
この先道路横断、車に注意	吊るし式	4	〃	
徐行、STOP	手持ち式	各2	〃	P 8が終わったらP 62へ渡し、使い回しする
	計 砂袋6			

三河高原トレイルランニングレース 2009

(文責・岡野 英雄 09,9,15 記、改)

※前日作業の内容 (コース関係 その 2)

- 1・テープは2.5～3.0mに1本、腰の高さに吊るす。1本道の場合、4.0m間隔でもよい。
- 2・直進してはいけない分岐点では、PPテープを長く張って誘導する。(車の通る道を除く。)
- 3・ポイントの看板を、「進行矢印」が見えるよう設置する。ポールの刺さる所を探し、「かなづち」は使用しない。
- 4・ポールは「ポイント(矢印)看板」1枚につき、2本を裏に「ガムテープ」で止め、少しの風では翻らないようにする。

地区	ポイント番号	距離	誘導テープ数	PPテープ			ポイント数	担当責任者
・北エリア (AS 2)	(往) 29-30-37-39-42 (復) 42-45-52-30	4.7km 3.7km	8.4km	360+40	黄色2巻 はさみ		24	伊藤さん
・中エリア (AS 1, 3)	(往) 9-10-18-24-28- 28a-b-c-29 (復) 29-28 (復) 24-57-61-11 (ショート) 18-60 (重複部分1kmを除いてある)	4.2km 0.3km 3.1km 0.5km	8.1km	360+40	黄色2巻 はさみ		28	足立さん
・南エリア (会場)	S-1-2-8-9 9-62-69-1-G	3.6km 2.7km	6.3km	260+30	黄色2巻 はさみ		17	松橋さん
※テープは現在 1020本+130本				980+110			69	

※当日の確認事項 (コース関係スタッフへの連絡)

- 1・「救急体制マニュアル」を必読のこと。
- 2・立すべきポイント(分岐)には、ポイントNo.と矢印の入った看板がある。
- 3・自分が離れても「選手」がコースを誤らないよう、「看板」「テープ」を張り直してもよい。
- 4・選手の最終を走る「スイーパー」(「重複コース」担当は帰りの)が通過後、基本任務は終了する。
- 5・資材回収担当の人は「ビニール袋(テープ入れ)」を持ってポイントへ行くこと。
- 6・それぞれのエリア担当責任者の了解を得て、その後の行動をとること。
- 7・回収した資材などはすべて体育館の裏(外・北側)で整理するので、運んで頂きたい。